

(様式 1)

地域間幹線系統別確保維持計画

令和 4 年 5 月 3 0 日

(住 所) 長野県飯田市大通り 2 丁目 208 番地
(名 称) 信南交通株式会社
(代表者名) 代表取締役社長 中島 一夫 印

1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 駒場線
運 行 区 間 : 飯田駅前～中村・阿智高校～曾山入口
計 画 期 間 : 令和 4 年 1 0 月 1 日～令和 7 年 9 月 3 0 日

2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

当該路線は、飯田市中心市街地と飯田市西部地区および下伊那郡西部地区（阿智村・平谷村・根羽村）を結び阿智村が運行する阿智村巡回バス及び根羽村が運行する西部コミュニティバスと接続する基幹路線であり、JR飯田駅へのアクセス手段となっている。
また、飯田市西部地区および下伊那西部地区は鉄道路線が通っていないため、バス路線が唯一の公共交通手段となっている。このため、通勤・通院・買物等日常生活上必要不可欠な路線である。また、起終点には阿智高校、飯田風越高校がある事から当該路線が唯一の通学手段となっている。
今後も更に高齢化が進む事が予測される事から交通弱者の移動手段を確保するために当該路線を存続指せる事が必要である。

3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

(1) 運行の目標

輸送量を指標とし計画輸送量の 30.1 人以上を目標とする

(2) 運行による効果

当該路線の運行により飯田風越高校生及び阿智高校生の通学手段確保を行なう。また、阿智村巡回バス、西部コミュニティバスとの接続によるネットワーク形成により幹線系統としての役割を維持して行く。

4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- 高校の学校行事に合わせた臨時便・続行便の運行（信南交通）
- コロナウィルス感染防止対策を継続して実施（信南交通）
- 新入学高校生に対し利用促進チラシの配布（南信州地域交通問題協議会）
- 1 乗車大人 100 円、小人 50 円均一の「公共交通の日」を数回実施（飯田市）

5. 費用負担額					
補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
R4. 10～R5. 9	8,624,243 円	4,312,000 円	4,312,000 円	243 円	円
R5. 10～R6. 9	9,258,531 円	4,629,000 円	4,629,000 円	531 円	円
R6. 10～R7. 9	9,344,259 円	4,672,000 円	4,672,000 円	259 円	円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

6. 収益改善のために行った取組状況
<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染拡大防止対策（車内の換気・消毒）を継続して行き安心して乗車できる環境整備を実施 ● 発券所の営業時間見直しにより担当職員を削減し人件費を圧縮 ● 阿智村内に定期券委託販売所を設置し利便性を向上させた

7. 生産性を向上する取組
(1) 取組内容
<ul style="list-style-type: none"> ● 飯田市「持続可能な地域公共交通構築に向けた検討会」にて移動困難者の移動手段の確保、キャッシュレス決済他検討 ● 「標準的なバス情報フォーマット」導入による運行情報のオープン化 ● WEB定期券申込書導入による利便性の向上
(2) 実施主体
飯田市、信南交通
(3) 定量的な効果目標（収支改善率1%以上を原則）
上記取組を実施する事により、収支率対前年1%以上の増加を目標とする
(4) 実施に向けたスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ● 計画策定に向け随時検討会開催 ● フォーマット作成、令和4年7月～ ● WEBサイト作成、令和4年6月～7月

(5) 実施時期
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通会議にて承認された案件より随時 ● 令和5年度より ● 令和4年8月本導入
(6) その他特記事項

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について
【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表5に定める広域行政圏の中心市町村以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野県飯田市大通り2丁目208番地
(所 属) 高速乗合課
(氏 名) 林 浩人
(電 話) 0265-24-0009
(F A X) 0265-24-0017
(e-mail) hhayashi@shinnan.co.jp